

01

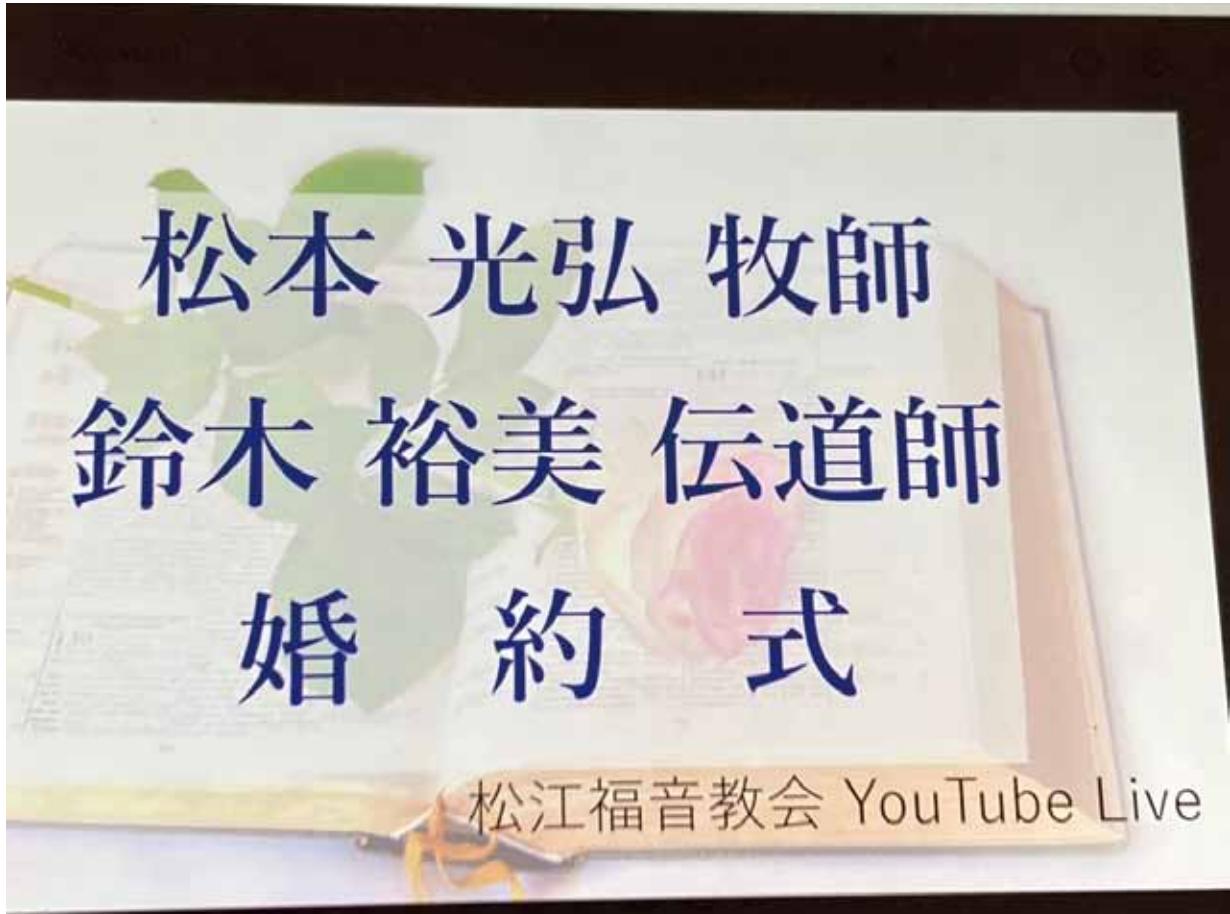
5月 2021

信仰による婚約

—写真結婚ではなく
ラインチャットで結婚に導かれて—

by NCM2 CHOIR

全4page



出会い

先日クリスチャン仲間の姉妹の婚約式がズームであり、出席しました。といってもコンピューターの前に座っただけですが。姉妹はカリフォルニアに長い間住み、LA ホーリネス教会でご奉仕されていました。

嫁ぎ先の牧師さんは島根県の松江の方です。姉妹の出身地名古屋の中学校の先輩であり、東京聖書学院でも先生であるだけでなく先輩である巡回伝道者、ハワイ在住の中野雄一郎先生のご紹介だったそうです。

聖書学院卒業後、故郷の名古屋一麦教会で奉仕したときに、中野先生が一麦教会とかかわるようになり、そこで、中野先生のお母様が受洗されたというようなこともあります。独身の姉妹のことを中野先生が心にかけていてくださったのでしょうか。

松江の松本光弘牧師の方は奥様を亡くされていて、姉妹の方は初婚です。紹介されたのが昨年の7月、実際によく二人が対面したのは、コロナ禍もあり、今年の5月10日でした。ですから、ラインチャットでの交際（？）期間は11か月。

電話は週に1回ほど、電話で一緒に聖書を学び、毎日曜日は松江の教会の礼拝にYouTubeで参加。交わりを深めてこられ、これから的一生を共にする決意をされ、婚約式にいたつたそうです。

昔アメリカにわたってきたピクチャーブライドは写真のみをたよりに渡米し、かなり悲劇もあったようですが、今の世の中、対面しなくても十分に相手を知ることができます。このテクノロジーの発達は驚くべきですが、やはり、お二人が結婚を決意されたのは、信仰がなせるわざでしょう。

婚約式当日

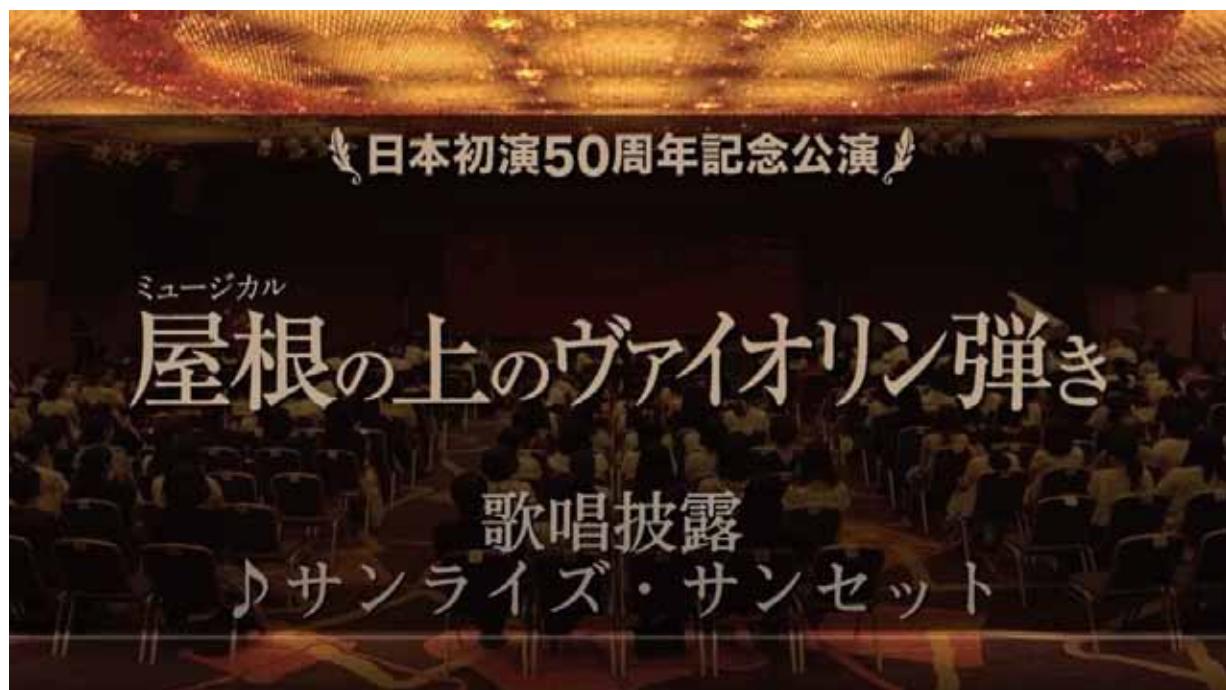


式は5月23日の聖靈降臨日の福音教会の礼拝後に行われました。始めのアーメジンググレースの贊美の際には、このくすしき結びつきは、本当に驚くばかりの恵だと参列者みんなが思ったことではないでしょうか。

司式の南場安正師（インマヌエル松江キリスト教会牧師）がおっしゃったように主の導きであり主のみ旨です。

先生は詩篇**118篇の23，24**「これは主の御業、私達の目には驚くべきこと、今日こそ主の御業の日、今日を喜び祝い。喜び踊ろう」をとりあげられ、また映画「屋根の上のバイオリン弾き」のテーマ音楽、

「陽は昇り、日が沈む」の歌詞、「陽が昇り、日が沈む、日が昇り、日が沈む、瞬く間に飛び去る歳月は季節からまた季節へと巡る。幸せと涙を積みかさね」のように、私達の人生は平凡な繰り返しかもしれません、その中に二人の掛けがえのない日々があると語されました。



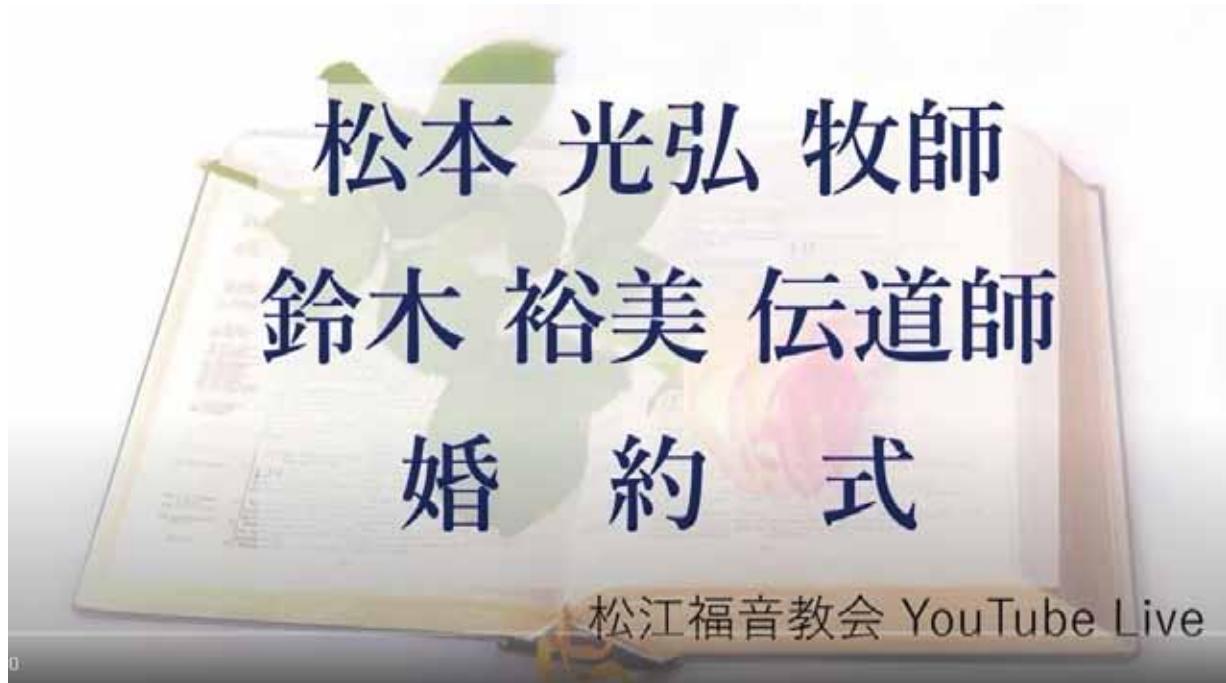
<https://www.youtube.com/watch?v=7d9xwRCseAs>
 YouTube (公開日 2017.08.24／投稿者 TohoChannel)

最後のご挨拶で松本先生は今64歳で96歳まで伝道したいとおっしゃいましたから、婚約者の鈴木裕美師はこれから、まだまだ、まさに神様の定めた彼のベターハーフとして主につかえていくことができます。

この婚約式はモーセが主から示されて出エジプトをしたときのことを思いださせてくれました。

記念品の交換は聖書でした。2週間後のズーム結婚式が楽しみです。

婚約式のYouTubeです。



https://www.youtube.com/watch?v=_uIGcxH6sKc
YouTube (ライブ配信: 2021.05.23／投稿者: 松江福音教会)

竹下弘美



折尾クリスチヤンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriocchristianchurch.net>

メール oriochurch@outlook.jp